

「8・19松山行動 in 愛媛」第1回「準備会」へのご案内

◆とき：7月12日(木)18:00~21:00 ◆ところ：松山市男女共同参画推進センター(コムズ)(3階第2会議室)
「伊方原発の再稼働を許さない市民ネットワーク・8・19松山行動 in 愛媛」事務局
連絡先：TEL・FAX089-964-8216 携帯：090-3783-7475

皆さま方におかれましては、「再稼働をとめよう」「原発なしで暮らしたい」「子どもたちの未来のために、放射能はこれ以上ごめんだ」と、それぞれの思いをもって、各地で多様な活動をなされていらっしゃることに、心から敬意を表します。私たちはどれだけ勇気づけられてきたことでしょうか。

国は、福島原発事故などあたかも過去の出来事であったかのように、大飯原発の再稼働を強行し、次々と全国の原発の再稼働に突き進もうとしています。

伊方原発立地県である愛媛県の中村知事は、6月18日、「伊方原発の再稼働が必要」と発言、同日、四電の「3号機耐震裕度は想定の2倍以上」との報告について、「四電の安全対策はほぼ十分」と評価しました。6月14日には経済産業省におもむき、「原子力安全委員会の委員は給与をもらいながら、伊方原発3号機第1次ストレステスト結果の審査を放棄している。早く審査し妥当との評価を出すべき」旨の発言をしています。

しかし一方では、「同意の是非の判断は白紙」と言い逃れています。

私たちは県民として、国から県に再稼働の要請があっても、「再稼働に同意できない」と中村知事にきっぱりと表明していただかなくてはなりません。

原発再稼働問題は、私たち県民はじめ国民自らが決める問題です。

ましてや、「首相」や「知事」が「自分が責任をとるから」として「再稼働を判断」すべき問題では断じてないはずです。福島原発事故の教訓は、「国、県、電力会社がだれも責任を取らない」ことを明らかにしたのではなかったのでしょうか。

私たち「伊方原発の再稼働を許さない市民ネットワーク」は、8月19日(日)に「**スタッフ伊方原発再稼働とめよう大飯原発 8・19松山行動 in 愛媛**」を、県内はじめ全国の思いを一つにした皆さんとともに開催することになりました。

つきましては、下記要綱で「8・19松山行動」第1回「準備会」を開きます。(「8・19松山行動」についての基本的構成・内容は別紙チラシをご参照ください。)

第1回「準備会」では、より多くの皆さまのご参加を得て、「パートI」「パートII」「パートIII」の各構成・各企画について、皆さまとともにその内容をより豊かなものとして、具体化していきたいと考えています。スタッフとしてご協力いただける方のご参加を強く訴えます。どうぞよろしくお願いいたします。

第1回「準備会」開催要項

参加歓迎!

- ◆とき：7月12日(木)18:00~21:00
- ◆ところ：松山市男女共同参画推進センター(コムズ)3階第2会議室
- ◆テーマ ①各企画内容について(第1回討議) TEL(089)943-5776
- ②「準備会」組織構成・責任体制について
- ③タイムテーブルについて
- ④財政について
- ⑤「準備会」連絡体制と第2回「準備会」会議日程の確認 以上



★★★小林圭二さん(元京都大学原子炉実験所)からのメッセージ★★★

6・30おい集会では、現地大飯の方自身による初めての公の場で抗議の声を聞くことができました。大飯3号の起動を阻止できませんでしたが、今後につながる地元の運動の芽が生まれたとともに、ネットワークの皆さんが来ていただいたおかげで、大飯の再稼働を、次の伊方再稼働の突破口にさせないための大きな一歩を踏み出すことができました。私たち一同、心から感謝しております。皆さんのとても元気なご活躍にはおおいに励まされました。8月19日には多くのメンバーが松山の行動に参加しようと話し合っております。その時お会いできることを楽しみにしています。